

平成12年度 菅生中学校区地域教育会議委員

| | 生涯学習委員会 | | ふれあい委員会 | | 広報委員会 | | 青少年委員会 | |
|------|-----------|---|---------|---|-------|---|--------|---|
| 委員長 | 黒澤 裕子 | P | 尾崎 富栄 | 住 | 七浦美知子 | 住 | 杉田 裕 | P |
| 副委員長 | (議長)工藤文比古 | 住 | 丸山 量子 | 子 | 日高とも子 | 住 | 菅野 礼子 | P |
| 会計 | 富田 道子 | P | 神田ウメ子 | P | 望月 優子 | P | 金子 浩美 | P |
| | 伊藤千代子 | 住 | 伊東亜恵美 | P | 生駒 みを | 住 | 中島美和子 | 住 |
| | 本郷千づる | 住 | 根本 俊隆 | 自 | 岡崎 進 | 住 | 宇野さと子 | P |
| | 竹間 弘 | P | 古川ツグ子 | 子 | 峯岸 恵子 | 住 | 長谷川俊子 | P |
| | 杉田 公男 | P | 薄井 健雄 | 民 | 高木由美子 | P | 服部 征男 | 防 |
| | 山崎千代子 | P | | | 三田久美子 | P | 新井 通夫 | 防 |
| | 川口 尊志 | 自 | | | 水谷 繁 | 非 | 菅野 輝夫 | 青 |
| | 坂大トキエ | 防 | | | | | 江部 峰勝 | 青 |
| | 荻田 和博 | 非 | | | | | | |
| | 中村 康人 | 非 | | | | | | |

住.....住民委員
P.....PTA父母委員
自.....自治会委員
子.....子ども会委員
防.....防犯委員
青.....青少年指導委員
社.....社会福祉協議会委員

民.....民生委員
非.....非選出委員

| 運営委員会 | | | 非選出委員 | | |
|-------|--------------------|-------|-------------|-------|---------------|
| 工藤文比古 | 議長 | 中村 康人 | 宮前市民館菅生分館 | 橋本 英雄 | 菅生中校長 |
| 岡崎 進 | 副議長 | 水谷 繁 | 菅生こども文化センター | 矢野 祐三 | 菅生小校長 |
| 杉田 裕 | 副議長 (兼・青少年委員長) | 荻田 和博 | 蔵敷こども文化センター | 黒沢 通哉 | 稗原小校長 |
| 黒澤 裕子 | 生涯学習委員長 | 黒沢 通哉 | 稗原小校長 | 中西 清 | 菅生中教頭 |
| 尾崎 富栄 | ふれあい委員長 (兼・事務局) | 矢野 祐三 | 菅生小校長 | 水谷 繁 | 菅生こども文化センター館長 |
| 七浦美知子 | 広報委員長 | 橋本 英雄 | 菅生中校長 | 荻田 和博 | 蔵敷こども文化センター館長 |
| 小柴 通利 | 菅生中 | 中西 清 | 菅生中教頭 | 中村 康人 | 館長代理 |
| 相楽 清孝 | 菅生小 | 佐藤 久美 | 事務局 | 相楽 清孝 | 教育会議担当 |
| 星野 和生 | 稗原小 | 生駒 みを | 事務局 | 小柴 通利 | 教育会議担当 |
| | | | | 星野 和生 | 教育会議担当 |

菅生中学校区地域教育会議ニューズレター (24)

2000年7月17日(月)

発行:菅生中学校区地域教育会議
編集:広報委員会
当番校:菅生中学校 TEL977-8787
事務局:コミュニティサポートネット
TEL979-1303

とらいあぐる菅生

菅生中学校区地域教育会議 検討委員会が発足 ～平成12年度第1回総会開催～

6月14日(水)午後6時より、平成12年度の菅生中学校区地域教育会議第1回総会が稗原小学校で開催された。

1期2年間議長を務めてこられた中島美和子さんの挨拶に続き、各委員会から平成11年度活動報告と決算報告がされた。決算に関して監査委員をおくことの提案があり、賛成多数で可決された。

新議長には、生涯学習委員長として精力的に活動してこられた工藤文比古さんが選ばれた。工藤さんから「地域教育会議の活動が時代の変化に対応していない。活動の停滞を感じている。根本的に見直したい。それに向けて『地域教育会議検討委員会』を設けゼロから考えていきたい」と提案があった。「検討委員会」の必要性は多くの委員からも声があがった。

「各委員会」と「検討委員会」の活動に対して活発な議論が交された。その結果、意見集約された案に対し採決がなされ、1年かけて地域教育会議そのものを検討し、来年の総会で提案・決議された後に新たなスタートをすることに決定した。「検討委員会」は運営委員が兼ねるが、これをオープンにし参加意志のある人には参加してもらうことの承認が得られた。

・規約の改正について
委員構成の「学童の指導員(各館から1名)」が削除となった。(理由:学童保育のシステム変更のため)

責任ある教育参加に向けた 菅生中学校区地域教育会議を目指して

ここ数年の公的教育環境の変化は激しいものがあります。少子化(児童人口の減少)に伴う教育環境の構造的な見直しはもちろん、それを取り囲む私たちの生活の価値観なども大きく変化しています。今、文部省を中心に2002年の教育改革にむけた試みが大胆に模索されています。地域のさまざまな学習資源を学校内に取り入れる総合学習、経営能力を要求される学校長の人材を民間から入れたらどうか、また地域で学校運営に参加できる評議会の設立案など多様なプランが出されています。

地域教育会議も、今という時代が要求している新しいニーズに応えるべき体制が必要になってきました。従来の学校からの要求に応えるヘルパー役や、学校にとって都合のいい環境整備のお手伝い団体ではなく、地域が自ら考える教育、次の時代に応える人材を創る環境を提案できる教育概念が必要です。つまりスポンサーシップから学校(行政)と対等な完全パートナーシップへ。

そのために9月より地域教育会議再生委員会をスタートさせます。ここでさまざまな検討をし、今という時代のスピードにぴったりと歩調を合わせた、即戦力になりうる、形が見える新生地域教育会議が来年からスタートできればいいと思っています。現在再生委員を募集しています。新しい提案、アイデアをお持ちの方、ぜひ登録してメンバーになってください。

議長 工藤文比古

お知らせコーナー

- ◆菅生小学校 ☎977-0914
- 9/2 親子草取り
 - 9/8 授業参観 1・2・3年
 - 9/14 " 4・5・6年
 - 9/16 クリーン作戦

- ◆菅生こども文化センター ☎976-0444
- 7/22 夏のやみなべ
 - 7/25・26 わくわくキャンプ
 - 8/3～5 わんぱくキャンプ
 - 8/9～11 プール(菅生小学校)

- ◆自治会盆踊り日程
- 鷲ヶ峰住宅 7/21(金)・22(土)
 - 長 沢 7/28(金)・29(土)
 - 稗原団地 7/28(金)・29(土)
 - 菅生ヶ丘 7/28(金)・29(土)

- ◆稗原小学校 ☎976-4557
- 7/24～26 PTA プール開放
 - 8/27 親子工作教室
 - 9/2 稗原クリーン作戦

- ◆蔵敷こども文化センター ☎977-2577
- 7/21 ぞうしきチャンピオンシップTVゲーム
 - 7/25・26 わくわくキャンプ
 - 7/27 流しそうめん
 - 8/9～11 プール(菅生小学校)

- ◆菅生自治会 7/29(土)
- 鷲ヶ峰西住宅 7/29(土)
 - 菅生台 7/29(土)30(雨天)
 - 蔵敷第一 7/28(金)・29(土)
 - 蔵敷団地親和会 7/28(金)・29(土)
 - 清水台 7/29(土)・30(日)

- ◆菅生中学校 ☎977-8787
- 9/9 体育祭

- ◆宮前市民館菅生分館 ☎977-4781
- 9/24～11/19 バードウォッチング入門

- 蔵敷AB 8/4(金)・5(土)
- 蔵敷自治会 8/4(金)・5(土)
- 初 山 8/4(金)・5(土)

菅生中学校区地域教育会議 『再生委員』募集のお知らせ

総会の決議により、12年度地域教育会議を見直す再生委員会(検討委員会)の委員を募集します。第1回運営委員会を下記の要領にて開催します。再生委員への申し込みは8月31日(木)までに、事務局へ電話またはファックスにて受け付けております。

日時:平成12年9月22日(金)18:30～21:30
会場:菅生分館学習室
※再生委員会は毎月第3金曜日(18:30～21:30)菅生分館で開催の予定

菅生中学校区地域教育会議の ホームページができました!!

ホームページアドレス
<http://www.linkclub.or.jp/~sugaochi>
E-mail: sugaochi@air.linkclub.or.jp

事務局(生駒、佐藤、尾崎)

TEL(979)1303 FAX(979)1302

ミニコンサート 菅生子どもたちの取り組み

7月10、11、12日の3日間の25分休みは、音楽好きの子どもたちがミニコンサートを開き、ちょっと緊張、ウキウキの時間でした。

このミニコンサートは去年初めて行なわれ、今年は2回目になる。子どもたちは音楽の教科のなかで、全員で合奏や合唱をしているが、教科書の曲ではなく、自分たちが普段聴いている曲や歌を演奏してみたいという声を音楽の中町晴美先生がキャッチしたことがこの始まり。4年生以上の子どもたちが友だちを集めて、数人のグループを結成、好きな楽器を使って好きな曲を演奏したり歌ったりすることを楽しんでいたので、せっかく練習してるならとコン

好きな曲を好きな楽器で楽しく



サートを開くことになった。

子どもたちがやってみようとした曲は難しい曲が多かった。演奏しやすいように中町先生がアレンジした。曲目はクラシックから坂本龍一の「エナジーロー」や、サザンオールスターズ、松任谷由美の曲と多岐にわたる。

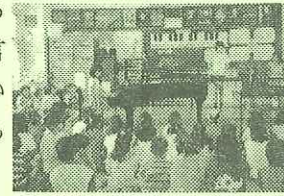
子どもたちは休み時間を使って、ミニコ



手話を使って歌の練習中

ンサートに向けて、手話入り歌唱やピアノを始めバイオリンやドラムの練習をした。子どもたちは口をそろえて「楽しい」と言う。練習がうまくいかないときは友だちと教えあった。

コンサートの日、25分間のなかに子どもたちの想いを表現でき、それを支える先生がいて、すてきな時間と空間が広がっていた。



いよいよ本番

中学生の1日職業体験

菅生中の2年生が街の商店などで職業体験していると聞いてカメラを持って飛び出した。目当てのガソリンスタンドではすでに中学生の姿はなく、「さっきまでいたのよ」という声を後ろに、近くのスーパーへ。やはり、中学生らしき子どもたちは見あたらず、それなら、ひょっとして菅生分館にいるかな?と駆けつけたが、そこも不在。そう言えばダスキンさんのところにも来ているという情報を思い出し、車で乗り付けると、ドア越しに中学生の姿が見えるではないか。「やったあ」あいさつもそこそこに『とらいあんぐる』の広報委員であることをあわてて告げると、お店の方々はちょうど昼食時にもかかわらず気持ち良く珍客を招き入れてくれた。

地域の中ではたらく

体験学習に来ていたのは矢沢友代さんと岩村渚さん。ダスキンのお店で働いてみたいと思った理由は、お客さんのお宅を訪問している人々にふれてみたいと思ったからだ。9時から約3時間、お店の車に同乗し、お客さんのお宅に伺い、汚れたダスキンを新しい物と交換した。初めはとても緊張し、固くなってしまったけれど、繰り返すうちに自然にできるようになったという。二人は半日働いて「やり遂げた」という達成感を得た。お客さんは皆親切で、「がんばってね」とか「お疲れさま」と励ましの声をかけられ嬉しかったと、地域の人とのちょっとした交流ができたことを喜んでいて。お店の方も「とても素直で気持ちのいい子たちでした」と嬉しそうに話す。

未知へのときめき



わー重ーい!

菅生中のこうした職業体験学習は「地域学習」の取り組みの一貫として2年生が学習する。今年で3年目。1年生は地域にある特色ある施設や事業所、寺院などの歴史や文化遺産を調査し、3年生は卒業生や地域の人々を講師に招いて「ふれあい職業講話」を中心に「地域に学ぶ」学習を行なっている。

この職業体験の実施には、商店とのつながりをもつ菅生懇話会の方々の協力がある。最初の年は、試行的に希望者を募った。約45名が応募、夏休み期間中に行なった。2年目から2年生全員を対象に実施。3年目の今年は受入れの事業所にもよるが、基本的に中学生が1日体験できるようにした。地元の商店や保育園や幼稚園、農家など38の事業所の受入れがあった。

橋本校長は「子どもたちは目を輝かせて体験の報告をするんです。未知のものにふれたときめきを感じているようです。いろんな大人とふれ合うことで、生き方とか生きる姿勢を学ばせてもらっています。また、世間ではコワイと敬遠されがちな中学生を知ってもらう機会でもあるんです」と、職業体験への意気込みを語る。

12年度の委員会活動予定

- ふれあい委員会
お年よりと子どものゲートボール大会
(9月23日、3月24日)
- 広報委員会
広報誌『とらいあんぐる菅生』の発行(年5回)
- 生涯学習委員会
検討中
- 青少年委員会
盆踊りふれあいパトロール
(7月28日、29日)
青少年パネル展(ビデオ上映も検討)

すがおふれあいマップ

子どものための菅生地区のマップ。菅生小の先生が作り、教材に使っているもの。イラストと解説がのっていて楽しい。菅生のお宝を発見できるかも。ほしい方は菅生小へ問い合わせてみてください。

2002年総合的な学習の時間への取り組み

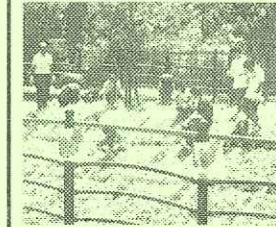
2002年から学習指導要領が変わり、小学校から高校まで「総合的な学習の時間」が週に2.3時間の割合で盛り込まれる。社会の大きな変化に対応し、子どもたちの「生きる力」を育むためである。学校現場の具体的な取り組みは・・・各学校の校長先生にインタビューした。

その1 稗原小では、総合的な学習の時間に向けて、昨年度より教職員間で何度も話し合いの時間をもちながら、現在の子どもの状況と地域の特性を活かした学習をめざしている。

今年度は、「あれ? どうして? やってみよう」～自らかわり、生き生きとした活動をする子をめざす～というテーマで、各学年35時間を計上し、それぞれ取り組んでいる。教職員自身も、草木染めなどの体験学習をしたり、講師を招いて授業研究をしている。

稗原小がこれまで行なってきた「稗原太鼓」や「花いっぱい運動」の活動を継続しながら、子どもたちの想像力を高め、子ども自身が自ら考え、動けることをめざし、教師が助言していけるよう、現在模索中である。

平瀬川七タサミット「平瀬川流域の人が好き」



清掃に汗する中学生

7月9日の日曜日、恒例の「平瀬川七タサミット」が開かれました(平瀬川流域まちづくり協議会主催)。今年で5年目。午前の部は、蔵敷を中心に平瀬川を上流と下流に分け、川の清掃を行いました。流域自治会からは160名も参加、さらに菅生中の子どもたちや先生方も約60名参加して、川の中のゴミを拾い出したり、土手の草取りに汗を流しました。これより前の7月7日には向丘中の生徒たちも川周辺の掃除をしたとのこと、魚が棲めるきれいな平瀬川を取りもどす運動の広がりを感じます。この運動のおかげで、川の水も年々澄んできています。掃除が終わった川の中で犬が遊び、そのそばに鴨が泳いでいたのが印象的でした。

午後の部はJAセレサ川崎向丘支店で、協議会の総会後、元教員の鶴飼雄さん(84歳)が自費出版した『ふるさとを想うー平瀬川にそった村から』の出版記念講演がありました。鶴飼さんは、昔は田んぼと畑と山しかなかった平地域の様子を多くの人々に知ってもらいたいと、当時の様子を知る64名の方々の寄稿を集めて出版に漕ぎつけました。この本を読むと、平瀬川にはメダカやフナ、ハヤ、ドジョウ、タニシ、カワエビ、ヤマベ、そしてなんとウナギにいたるまでたくさんの生物が棲息していたことがわかり、また、鶴飼さんをはじめ皆さんがいかにこの川を愛していたかを伺い知ることができます。「平が好き、平瀬川流域の人が好き」と、最後に鶴飼さんは結びました。

「うるおいのあるまちづくり」運動は、平瀬川文明をも次第に明らかにしつつあるようですね。流域の人々を徐々につなぐ今後の活動がますます楽しみです。



鶴飼さんが出版した本。公共図書館や学校に寄贈。一冊2000円。売上は市内福祉施設などに寄付されます。問合せは鶴飼さんへ(TEL044-866-4650)